

ゆめ まち ひと
住友理工 夢・街・人づくり助成金

助成金交付申請書

住友理工 夢・街・人づくり助成金審査委員会 御中

申請日：2019年 7月 〇〇日

1. 申請団体について

<基本情報>

団 体 名	(ふりがな) 〇〇〇おたすけたい		
	〇〇〇お助け隊		
代表者氏名	(ふりがな) とうかい たろう		
	東海 太郎		印
団体所在地	〒485-0041 小牧市小牧〇-〇〇		
団体連絡先	TEL (0568) 〇〇-〇〇〇〇	FAX (0568) 〇〇-〇〇〇〇	
	E-mail komaki-XX△△@〇〇〇.ne.jp		
ホームページ	http://komaki-XX△△.jp		
担当者連絡先 (代表者と同一の場合は記載不要)	(ふりがな)		
	氏名		
	TEL (連絡の取りやすい番号)		
	E-mail		
設立年月日 (または、活動開始時期)	2016年 4月 1日	構成人数	5 人
団体の活動目的 (団体の設立目的・活動目的)	この団体は、〇〇地区の高齢者のみの世帯や高齢者の一人暮らし、体が不自由な方、子育て中の方など支援を必要とする方を対象に、日常生活で困っていることなどを手助けする活動を行うことを目的とする。		
主な活動場所	依頼者の自宅など		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者への庭の草刈り、買い物代行などの生活支援 ・子育て中の母親への相談などの支援 		

2. 申請事業について

(1) 申請区分

助成金の区分 (申請する部門にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 夢づくりスタート部門(50,000円) <input type="checkbox"/> 街・人づくり部門(100,000円)
該当する分野 (該当するものにチェック※複数可)	<input type="checkbox"/> ダイバーシティへの貢献 <input type="checkbox"/> 青少年の育成への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりへの貢献 <input type="checkbox"/> 市民活動への貢献 <input type="checkbox"/> 自然環境との共生への貢献
他助成金との併用	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

(2) 実施したい事業について記入してください。

申請事業名	高齢者のお困りごと支援 事業
事業実施期間	2019年〇〇月〇〇日～平2020年〇月〇〇日まで
1) どのような事業を行いますか？(事業概要)	
高齢者を対象に、日常生活でのちょっとしたお困りごとの支援を行う。	
2) なぜ、この事業を行うのですか？	
①解決したい社会課題 ②目的 ③社会ニーズ ・高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、孤立死(孤独死)も増加傾向にある。また、「誰とも会話をしない」、「近所づきあいをしない」、「困った時に頼れる人がいない」など、社会から孤立した状態となり、生活に不安を感じることに繋がる。 ・地域での困りごとの支援を行うことで、これからの高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指す。	
3) 具体的に、何をどのように行いますか？(設定・手法)	
①いつ ②どこで ③何を何回 ④誰に(対象者) ①〇月～〇月 ②依頼者の自宅など ③依頼のあった際に支援を行う 例) 電球・蛍光灯の交換、家具や荷物の移動、自宅の清掃、庭の草刈り、生活用品の買い物など ④一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の方	

4) どのような体制で事業を行いますか？（役割分担・協力先など）	
会の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼者の募集、連絡などの事務作業。 ・依頼者の自宅での作業などを行う。 協力先 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会にチラシの配布に協力いただく。 	
5) どのようなスケジュールで行いますか？	
①準備期間	〇月上旬 事業内容の詳細を決定 〇月下旬 チラシなどによる依頼の募集（募集は随時行う）
②中間報告時期	〇月 中間報告書の提出
③実施時期	〇月～〇月 生活支援活動
④検証期間	〇月 事業の振り返り
⑤実績報告時期	〇月 事業報告書の作成提出
6) その事業を行う事により、どのような効果が期待できますか？	
①誰に、どのような効果をもたらし ②どのように変わるのか <ul style="list-style-type: none"> ・支援活動を行うことで、地域にどのような方がいるのかが把握でき、孤立死などを防ぐことができる。 ・近所づきあいをするようになったり、頼れる人ができることで、生きがいができる。 ・高齢者が安心して生活することができる地域を実現するきっかけとなる。 	
7) 申請事業終了後、どのように発展させていきたいですか？	
<①社会全体に対して> 助成終了後も引き続き支援活動を行い、市内の他地区へも広げる活動を行う。 高齢者や障がい者、子育て世代の方など、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。	
<②団体運営に対して> 現在は無料で行っているが、今後は依頼の内容に応じた利用料を設定すること、また積極的に活動のPRを行い、会員の増強に努めるなど、事業を継続できるような仕組みづくりを進めていく。また、専門性が必要な作業も行えるように、人材育成にも取り組む。	

8) この事業にかける熱意や自団体ならではのアピールをお書きください。

- 現在、〇〇地区では、特に高齢化が進んでおり、公的なサービスだけでは解決できない地域課題が数多くあります。そのため、自分たちの地域の課題は自分たちで解決していく必要があります。高齢者や障がい者、子育て世帯の支援を行うことで、住民同士のつながりが生まれ、お互いに助け合う地域づくりが実現できればと考えています。
- この団体のメンバーは、シニア世代で構成されています。自分たち自身も高齢者と言われる年齢であるため、依頼される方の気持ちがわかるメンバーでもあります。

(3) 申請事業における収支計画書

収入の部

(単価：円)

項 目	金 額	摘 要
①夢・街・人づくり助成金	50,000	助成金
②その他の助成金	20,000	〇〇〇助成金
③自己資金	5,000	団体会費より
④その他の資金		
合 計 (A)	75,000	

支出の部

(単価：円)

項 目	金 額	摘 要	
助成対象経費	人件費	15,000	スタッフ人件費@500×5人×10回(ガソリン代含む) (25,000円の内、助成対象経費は15,000円)
	通信運搬費	10,000	チラシ等送付代@82×120通程度
	印刷製本費	10,000	チラシ等作成費(紙代5,000円・印刷代5,000円)
	消耗品費	10,000	文具等購入費(筆記具・封筒等)
	使用料	5,000	会場使用料(事業打合せ等・月1回程度)
	食糧費	5,000	会議・作業時お茶代
計 (B)	55,000		
助成対象外経費	人件費	10,000	スタッフ人件費(助成対象外経費分)
	食糧費	5,000	会議・作業時お茶代(助成対象外経費分)
	物品購入費	5,000	工具等購入費
計 (C)	20,000		
合 計 (B+C=A)	75,000		

3. 提出書類について

※必ず口にチェックを入れること。

- 1) 助成金交付申請書
- 2) 団体の会員名簿（任意様式）
- 3) 団体の規約、会則等（任意様式）